



唐竹 晩秋 Karatake in late autumn

© photo by Isao Yoshida

よいことのために手を取りあおう Unite for Good

RI会長 フランチェスコ・アレツツオ

第2570地区ガバナー 坂口 孝
第3グループ
ガバナー補佐 高橋 和男

クラブ強化と活性化のために行動してください!

第3191例会 2025.10.8

— 経済と地域社会の発展月間 —

天候 晴 (NO. 62-15)

会長 中里忠夫 幹事 都築敏夫

例会日 水曜日 (12:30~13:30) 当番 福島君、中里(昌)君

例会場: ホテル・ヘリテイジ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

<http://www.hanno-rc.org/>

E-mail hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 中里忠夫会長
- ・ソング 我等の生業
- ・卓話 出水仁様



【会長報告】

今月のR I レートは149円です。

My ROTARYへの登録者数は、大野(泰)、本間委員長のお力をお借りして、29名、42%となりました。ご協力有難うございました。

先日、所沢での会長幹事会で、2570地区の坂口ガバナーが体調不良で年内お休みとの報告がガバナー補佐からありました。2025-2026年度のロータリー国際大会は来年6月13~17日、台北で開催され、世界から4万人のロータリアン、ご家族が集まります。登録料は475ドル(4月1日以降は200ドル高くなり、675ドル)。参加希望の方は公式サイトから申し込んでください。

【幹事報告】

2028-2029年度ガバナー候補は鶴ヶ島RC所属の齊藤大祐氏です。RLI(ロータリーリーダーシップ研究会)パート2の開催: 10月28日(土)受付9時~国立女性教育会館。締切は10月10日(金)。パート3の開催は12月20日(土)の予定です。また、ファシリテーター養成セミナーは来年2月28日に



変更になりました。「第47回バギオ訪問交流の旅」募集(提唱: 東京臨海西RC)。日程はR8年2月11~15日。参加希望の方は事務局まで。来週は休会、再来週は夜間例会です。

【委員会報告】

- ◎親睦活動委員会 鈴木(勝)君
日高RCチャリティーゴルフ(10月14日)組み合わせ表を配付。何かありましたらお申し出ください。10月22日、メッツァでの夜間例会は現在51名の参加予定です。
- ◎出席向上委員会 大野(泰)君
11月22・23日「地区大会」。23日の出欠

票はできれば本日ご提出ください。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【出席報告】無届欠席1 森住出席向上委員

会員数		当 日	
全 数	対象	出席数	出席率
69名	7名	60名	86.96%

【M U】

- 10/2 (第3G) 中里(忠)君
10/6 (新狭山) 大崎君

【S A A 報告】

◎ニコニコBOX

- ・出水様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。
社会奉仕委員会 神田君
・早退します。
田辺君

本日計3,000円、累計額343,211円。

◎22日例会当番は大附、大崎会員です。

【卓 話】

講師紹介 神田社会奉仕委員長

中里会長は「地域社会に直結したプロジェクト」の中で「花の街はんのう」プロジェクトを掲げておられます。出水様は13年間まちづくり推進委員会に所属され、飯能地区のまちづくりで活動されています。本日の卓話が皆様の参考になればと考えております。

出水様は1950(S 25)年、香川県・小豆島のお生まれ、今年75歳。1973年、大阪経済大学をご卒業後、「西武百貨店」に入社。2001年、「そごう」再建のため出向、「西武百貨店」を退社し「そごう」入社。管理部長、総務部長、2009年には法務業務改革室長を歴任、百貨店改革を推進されました。2012年「飯能地区まちづくり推進委員会」に入会、2014年より会長を担われています。東日本大震災の折、2011～2012年の1年間はボランティアとして活動されました。ご趣味はバイクツーリング。モンゴルをオフロードで走り回ったというご経験もある強者でいらっしゃいます。細田(吉)、細田(伴)会員とご親戚です。

中央公園を市の花「つつじ」で埋め尽くす 風景づくりプロジェクト

飯能地区まちづくり推進委員会 会長

出 水 仁 (でみずやすし) 様

本日は貴重なお時間を頂戴し、「飯能地区まちづくり推進委員会」へのご理解を賜れるよう場を設けて頂き感謝申し上げます。



我々の活動の目的は、大きくは「飯能を知ってもらう」市民にも来飯者にも、ということです。また、「飯能河原」は冬場が寂しいので、その活性化の取り組みもしております。

H 12年度、飯能市内8地区に、地域活性化とコミュニティ形成を目的に「まちづくり推進委員会」が設立されました。メンバーは自治会等、地域コミュニティ団体の代表者および公募の会員で構成されています。「飯能地区」は、スポーツ協会、16自治会、PTA、観光協会、商工会議所、青年会議所、商店街、青少年健全育成の会、公募会員等が主たるメンバーで、現在のところ、16の各自治会から1名ずつ選出されたメンバーが主体となって活動に取り組んでおります。

活動の重点事業方針として、ここ10数年間取り組んだことは次の2つです。

①市民および来飯者に飯能の魅力を伝えることにより、より深く飯能に愛着をもってもらう活動：それが、ひいては住民の増加、移住に繋がるのではないか、もう一つ、飯能を知ることで飯能への郷土愛、自分の地域への愛着をもってもらえるのではないか、ということで取り組んで参りました。

②「飯能河原」「天覧山」等、自然に溢れる地域の環境整備活動：私は川越から30年前に飯能に越してきたのですが、本当に自然が良くていいところだなと思いまして、我々の活動もこの自然環境を如何にプラスシュアップして後世に残していくかが重要だというところでこのような取り組みをして参りました。

H 21年以降、以上のような取り組みをしてきたわけですが、その前には私の大先輩がこちらに居られます。H 12年から20年位まで、当時の会長・山岸博様(二丁目自治会長)、そして、我々とも深く関わっている事業プロジェクトをやって頂いた吉田行男様でございます。「サインと景観づくり」「飯能河原の利用ルールづくり」「蕎麦づくり」の3事業に、山岸会長、吉田様等の皆様が9年間近く取り組んで来られました。現在もその時の道標や看板、サインが残っており、我々が今、それを引き継いでいるというところです。山岸会長の後、清水進様(永田台自治会長)が2代目の会長をされ、私が3代目ということになります。

H 22～27年度に重点的に取り組んだの

がこちらです。飯能駅改札前に「観光案内」というフラッグを立てて「なんでも案内所」というのをやっていました。何故「なんでも」なのかと言うと、飯能に来る方には観光案内を、飯能市民の方には飯能のいろんなことを知りたい・聞きたいに応えるということで、双方にいろんな形で飯能の魅力を伝えるという意味で「なんでも案内所」なのでした。7～11月の土日祝日に実施し、3年半程継続してやって参りました。

案内をし始めて気づいたのが、飯能を案内するマップやツールが無いね、ということでした。じゃあ、我々で飯能の観光案内のマップを作ろう、市民にとっても地元の歴史や曰くのある場所を網羅したマップを作ろうじゃないかということで、案内所を運営しながらマップを5種類、シリーズで作り（「駅からMAP シリーズ1～5」）、市民や来飯者に配布するようになりました。そのうちの4種類は、現在、飯能駅観光案内所「ぶらっと飯能」で常備し、使って頂いております。

もう一つは、来街者からアンケートを取り集計して、飯能市の観光事業活性化に資するよう市にデータ提供をして参りました。どこから／何の目的で来たか／飯能の魅力はどこにあるのか等問い合わせ、案内所を閉める時点で毎年集計し、市の観光課に提出して、「駅前に観光案内所が必要ですね」ということを訴えて参りました。その頃、「飯能まちなかを元気にする会」という、市で立ち上げたプロジェクトも開始されました。これは「飯能市中心市街地活性化計画」に基づいて、まちなかの活性化を市民参加で進めていこうというもので、うちのメンバーからも10数人が参加して、観光案内所を駅前に開設しようということで取り組みました。そして、H26年4月、飯能駅観光案内所「ぶらっと飯能」が市によって設置されました。

以上が、我々の前段の活動でございます。「ぶらっと飯能」ができ、我々が観光案内をしなくともよくなり、マップも配布して頂いているということで、観光案内もしくは市民への案内は「ぶらっと飯能」に任せようということになりました。じゃあ、我々は次どういう仕事に取り組んでいこうかという話になり、基本的には天覧山と飯能河原周辺等の環境整備が軸足になっていますので、飯能河原の環境整備に重点的に取り組もうということになりました。

飯能河原は、春・夏・秋はハイキングや水遊び等で訪れる方が多いのですが、12月・1月・2月が非常に寂しいのです。そのため

「四季を通じて楽しめる飯能河原を」ということで始まったのがスイセンを植える事業です。そのほかサクラも植えています。植樹会は地域の子ども達や保護者の方を中心に行い子ども達が大きくなつた時、「ここは自分が植えたところだ」ということで郷土愛の育成にも繋がるとしております。

植樹会はここ10年間で5回開催しました。コロナ禍で3年間は開催できず、2回は雨天中止となりましたが、その5年間も含め、毎年1,000株ずつ我々メンバーで植樹を欠かさず行って参りました。10年間に植えた数はスイセンが概算で13,700株、サクラが12本、サザンカ4本、スズランノキ3本、ロウバイ9本。地域の地権者の方にご了承ご協力を頂きながら進めて参ったという背景でございます。併せて植栽エリアの草刈り・清掃も定期的に何回かに分けて毎年取り組んで参りました。

そして、2期目の中期計画プロジェクトになります。これ以外にもいろんな形で地域のコミュニティー形成ということがあります。

例えば、地域の環境整備の流れの中で「第二区地区」のマップを作りました。

「駅からマップ」は美杉台や龍崖山等、まちなかを中心作ってきたのですが、第二区の会員の方から、地域のことを地域の人が忘れてきており、継承できなくなっているという話や、ハイキングに来た方が、天覧山、多峯主山を抜けて「飯能アルプス」に至り、第二区地域に下りていろいろ回られる方も居ることで、第二区のマップを作ることになりました。

マップを作るには1年間が調査、2年目に制作ということで、2年掛かりで作りまして第二区の子ども達や皆さんに配布しました。さらに、歩く動線もマップ上に入れたのですが、道標が無いということで、マップに連動した道標を18か所に設置しました。

それから、地域の人達との交流、コミュニティー形成が我々のもう1つの事業目的ですので、いろんなハイキングイベントもこの年度で2回程やりました。地域の子どもに「柏木山って知ってる？」と聞くと「知らない」と言うわけです。それなら柏木山に皆で登ろうよということで、子ども達を中心に保護者の方達と登るイベントを行いました。

どの地域も相当高齢化してきていて、ボランティア的な活動を担う人が少なくなっているということもあり、他団体の支援・協力が必要になってきたということですね。第二区でやっている地域活性化のイベント「と

のやまマーケット」のお手伝いをさせて頂いたり第二地区スポーツ協会主催「陽だまり・ふれあいウォーク」も運営に人手が足らないというので、我々のメンバーがお手伝いさせて頂く、というような活動をして参りました。

スイセン等を植えた以上、我々が責任をもって維持管理、メンテナンスを継続して行きますが、ひとり植樹は終わりましたので、次のステップとして、来年度以降の新しい事業「天覧山つつじ花公園づくりプロジェクト」を立ち上げました。

飯能市の中央公園には市民でも知っている人の少ない、素晴らしい場所があります。そこを「市の花」である「つつじ」を堪能できる場所にしようというものです。サクラが終わったあとも、つつじが咲き誇る中央公園になれば、市民やハイカーに楽しんで頂けるのではないかと思います。つつじのメッカ、初夏の風物詩となるよう「つつじ公園化」「花公園」にすることを来年度以降5年間の事業の中心に据えて参りたいと思います。

飯能の固有種「ハンノウツツジ」は天覧山付近で1919(T8)年に見つかった、ヤマツツジとサツキの野生の交配種だそうです。探してもなかなか見つからなかったのですが、西武鉄道の「公益財団法人ほほえみの森財団」が株をもっていまして、お願いして株を分けて頂き、今年3月に公園の法面に植えました。4月にはこのように咲いております。固有種の保存活動にも繋げていきたいと考えております。法面の上は駐車場です。非常に大きな法面をもっていますので、赤、白、ピンクの3色を植樹する計画です。

ボランティアでここに花を植えている方(S様)がいらっしゃいまして、以前ロータリアンだったという方で、一緒にやっていきましょうということになりました。

このプロジェクトは飯能市の市民、団体、事業者の参加を募り、飯能市を挙げて推進する計画になっております(以下11項目)。

①研修の実施：塩船観音寺、薬王寺等へつつじを見に行ったり、座学研修等でつつじを知る、勉強する。知識がないとケアできません。

②植樹計画の作成：どのような種類の何色の



花をどこにレイアウトするか。

③花壇の花計画：S様を中心に1年間の花壇の四季の花計画を作つじと一緒に花壇にも折々に花が咲くよう一緒に計画する。

④植樹会：市民、団体、事業者の参加を募り地域の子ども達を中心に大々的に植樹会を行う。来年3月の実施予定。新井市長等にもご出席頂いて賑々しくやっていきたい。

⑤広報：次年度以降も継続する事業のため、皆に知ってもらうことが重要。チラシ(全戸配布)、SNS、市の広報関連等を使って募集を行う。

⑥植樹のやり方の説明：開催前に参加者に対して説明会を行う。

⑦次年度以降も植樹会を継続する：財源から考え、予定では10年計画。中期計画の5年目で何とか形にしたい。

⑧組織づくり：植樹会参加者を中心に、植栽の維持・保持・管理を目的とする組織を「まちづくり推進委員会」とは別に結成する。我々の組織が無くなても長らく維持できるようにする。

⑨挿し木栽培：固有種ハンノウツツジは花壇に挿し木栽培して苗木を作り、希望する市民にお分けして、お庭に植えて頂くという流れにしたい。

⑩つつじ祭り：公園が完成したら「つつじ祭り」を開催して、公園の認知と地域コミュニティの形成をして頂く。「サクラまつり」に類する恒例祭になれば良い。

⑪記念碑：公園完成後、このプロジェクトの意味と経緯、参加頂いた方への感謝を込めて記念碑を設置する予定。

我々も高齢化しておりますが、頑張りたいと思いますので、今後共ご協力の程よろしくお願ひ致します。